



ペプチサル ユーザーの声

ペプチサルジェントルマウスジェルの使用経験

介護老人保健施設 あんず苑

歯科衛生士 山村万里子さん（東京都）

ペプチサルジェントルマウスジェルは、以前使用していたものと比べて、固さがほどほどである点、甘みが抑えられている点などが使いやすく、保湿も良いように感じています。

入所者の口腔ケアにおいて、保湿剤のタレ込みは誤嚥の原因になるため、問題になります。そのため、柔らかいものは使いにくく、今回は各社製品を手の甲に出して比較し、伸びが良く使いやすいものを選定しました。ペプチサルはちょうどよい固さのため、タレ込みが少なく使いやすい上に、保湿も良いので、選ばせていただきました。



山村万里子さん

北海道函館市出身
函館歯科衛生士専門学校卒
同校科長を経て現職

「ロのかわき」について

「口腔乾燥症」「ドライマウス」「Xerostomia」「口渇」など色々な呼び方がありますが、そもそも「ロがかわく」とはどういうことでしょうか？

「乾く」は水分が蒸発して乾燥する状態、「洗濯物が乾く」といった使い方をします。

「渇く」はノドのうるおいがなくなり水分を摂りたくなる状態、洗濯物には使いません。

体液量が減少して浸透圧が上昇すると渇中枢が刺激されて飲水切望感が増加します。この現象は体液中の電解質に異常があっても生じますので、単純に水分が足りないとは言いきれないのです。唾液が十分に分泌されていても口渇感を覚えることがあります。こういった場合、何等かの疾患が影響していることもあるので注意が必要です。

逆に唾液分泌が減少する代表的な疾患であるシエーグレン症候群の患者さんの中に、口渇感をほとんど感じない人がいることにも注目する必要がありますでしょう。

口腔粘膜が乾燥している状態を口腔乾燥症とするならば、水分を補ってあげれば良いと思うのですが、水分の摂り過ぎが体液分布の異常につながることもあるので、急激に大量の水分を摂ることは避けた方が良いでしょう。

粘膜表面には保水性の糖タンパクであるムチンがあって、組織を保護していますが、過度の飲水はムチンを洗い流してしまうため、却って乾燥させてしまうこともあり、注意が必要です。

口腔乾燥にペプチサルをご活用いただいていますか？